



ねんちょうだより

令和6年6月6日
川口市立舟戸幼稚園
年長組



アジサイの花や葉に雨が当たり、カエルやカタツムリもうれしそうに散歩しています。子供たちは汗をかきながら園庭で虫探しや砂遊びをしたり、室内では造形遊びやごっこ遊びをしたりして友達と一緒に遊びの場をつくりながら元気に遊んでいます。遊びを通して自分の思いを友達に伝えたり、自分らしさを発揮したりして遊ぶ姿が見られるので、更に楽しく充実した幼稚園生活を送れるよう関わっていききたいと思います。今後も一人一人の思いや考えを認めながら、子供たちの成長を援助してまいります。

流しそうめんみただね

砂場で裸足になると「気持ちがいいね」「砂の中に足を入れると冷たいよ」と穴を掘ったり、水を運んだりして、砂の感触を味わいながらダイナミックに遊んでいます。初めはそれぞれが自分の好きな場所に穴を掘ったり、水を流したりしていましたが、樋などを準備すると「水が流れるようにコースをつくろうよ」「山とかダムとかつくろう」「トンネルもあるといいかな？」など、友達と一緒に相談したり、どうやったら水が流れるか考えたりしながら遊ぶ姿が見られました。樋をつなげて上手く水が流れず「ここで水が漏れちゃうよ」「だめだ、どうやったら水が流れるかな？」「わかった、水は高い所から流れるからここを高くしないとイケないんだよ」「ここ掘ってね。ぼくここ固めるね」など、役割分担をしながら遊びが進んでいきました。イメージ通りに水が流れると「わあー、流しそうめんみたい」「ここまで流れてきたよ」「今度はここをダムにしようよ」と歓声があがり砂遊びを楽しんでいました。教師は、子供同士が試行錯誤している姿を見守ったり、一緒に考えたりしながら援助をしています。今後も、砂や水に親しみながら遊べるような環境や、遊びの時間を確保できるようにしていきたいと思っています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『健康な心と体』『協同性』『自然との関わり・生命尊重』『言葉による伝え合い』『豊かな感性と表現』につながる姿が見られます。

大きくなあれ！

舟戸学園には、自然がいっぱいです。園庭の畑には、昨年度の年長さんから「畑のお世話をお願いします」と言われたことを守り、サヤエンドウの収穫をしたり、ジャガイモの水やりをしたり、夏野菜の苗やサツマイモの苗を植えたりしました。野菜の苗を保育室に置いておくと、「これなんだろう？」「あ！野菜の苗でしょ」と、見たり触ったりして興味津々でした。『何の野菜かわかるかな？』と問いかけると「わからない」と、知らない幼児が多い中「これはトマト」「これはナス」と、次々に苗を当てるS君。『よく知っているね』と、声をかけると「だってここをよく見ると小さいトマトが見えたから」「ここはナスの色になっているでしょ」との事。その後S君を中心に、図鑑を見たり、葉っぱの形や花の色などをじっくり観察したりしていました。自然豊かな環境の中で、いろいろな自然に自分から進んで関わり、野菜の生長を楽しみながら過ごしていけるようにしたいと思います。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『自立心』『言葉による伝え合い』『豊かな感性と表現』『自然との関わり・生命尊重』につながる姿が見られます。

6・7月は次のようなねらいをもって進めていきます

- 自分なりの目当てをもち、友達と考えを出し合いながら遊びを進めることを楽しむ。
- 砂・土・水の感触を味わいながら、試したり工夫したりして遊ぶ。
- 友達と一緒に経験したことを、様々な方法で表現したり、遊びに取り入れたりしようとする。
- 梅雨の時期の自然に関心をもつ。

